

### 7月2日 浦ノ内湾の環境・プランクトン調査結果

浦ノ内湾で赤潮が発生したため、臨時調査を行いました。

#### 【注意！】

シャトネラ・マリナが、湾全域で高密度になり、海面が濃く着色しています。

本種は、数百cells/ml程度で漁業被害のおそれがあります。

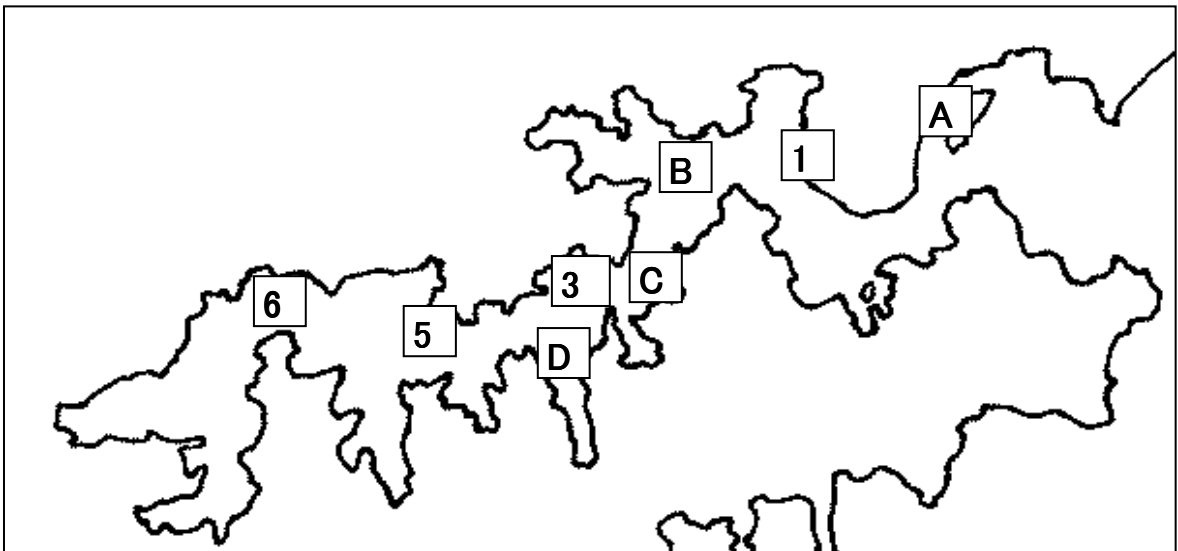
図中の5やBの調査点では、密度が1万cells/mlを超えています。

また、湾口部のAでも、最高264cells/ml出現しました。

非常に危険な状態になっていますので、養殖魚の様子に充分注意してください。

また、カレニア・ミキモトイが最高2cells/mlみられました。

本種は、数千cells/ml程度で漁業被害のおそれがあります。



	観測層	水温	塩分	溶存酸素	シャトネラ・マリナ	カレニア・ミキモトイ
	(m)	(°C)		(mg/l)	(cells/ml)	(cells/ml)
6 水深(m) 12.0	0	27.0	19.3	12.6	1,620	0
	2	25.6	29.6	5.6	980	0
	5	25.0	30.5	3.5	128	0
	10	23.8	30.8	0.3		
	B-1	23.7	30.9	0.2		
5 水深(m) 15.5	0	27.7	22.2	12.4	13,740	0
	2	25.9	29.2	7.3	5,350	0
	5	24.8	30.7	3.6	233	0
	10	23.9	30.9	0.8		
	B-1	23.5	31.0	0.4		
D	0				1,840	0
	2				900	0
	5				43	0
3 水深(m) 16.6	0	28.0	24.3	12.5	8,450	0
	2	25.7	29.5	8.0	4,590	2
	5	24.8	30.7	4.0	78	0
	10	23.6	31.0	0.7		
	B-1	22.8	31.3	0.3		
C	0				5,790	1
	2				174	0
	5				14	0
B	0				18,700	0
1 水深(m) 9.3	0	25.7	25.9	8.5	21	0
	2	25.4	29.9	7.1	186	0
	5	25.2	30.7	5.9	9	0
	B-1	24.7	31.0	3.4		
A	0				211	0
	2				264	0
	5				157	0